

##見出し

第120回定例会を開催

臭いの問題や海外研修などを審議

##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は、13年12月12日(木)、東京・中央区八重洲のTKP東京駅前カンファレンスセンターで、「第120回定例会」を開催しました。

定例会は、大恵ウール常務・西岡幹事の司会により開会。冒頭、大東紡寝装顧問・野村会長が、「120回という節目に、年末の忙しい最中、ご参集頂きありがとうございます。今年は品質に対する誤表示問題が起きましたが、当クラブでは、“安心・安全”の観点から羊毛の臭いの問題を取り上げています。しかし、この問題は大変根深く、結論は容易には出ない状況ですが、今後も粘り強く取り組んでいきますので、各位の理解と協力をお願いします」という旨のあいさつをしました。

引き続き、4つの議題を掲げ審議。まず、カネヨウ取締役・後藤稔書記が、「第119回定例会」のレビュー(議事報告)を行いました。

【議題①】BWC会費改訂について＝池田綿業の退会により収支計画も変更となったため、前回の定例会にて改訂した会費について再度審議を行いました。各種経費の見直し、会議室利用の見直しや会員の負担増なども含めて協議を行いましたが、急な議案であったため、今回では決せず継続審議となりました。

【議題②】羊毛の不快な臭いに関する基準作成について＝当初AWIにて予定していた「臭いの成分分析」については費用負担が大きく実行できていません。その間、AWIとQテック(検査機関)の間で協議を行い「清浄度試験を取り入れることで協議がまとまった」とのことでしたが、この流れはこれまでの当クラブでの協議、またはQテックを交えた試験検証をまったく踏襲していません。当クラブで注視している油脂分についても討議に加えてもらうと共に、両社協議の動向を注視していくことになりました。

【議題③】2014年度海外研修旅行について＝BWC執行部からの研修旅行提案内容について、カネヨウ・勢間氏から説明がありました。協議の結果、2014年度は海外研修旅行を執り行うことと決定しました。行先＝東南アジア(ベトナム、インドネシア)。時期＝2014年7月上旬。

旅程の詳細、費用などを執行部にて煮詰めて、次回定例会で提示、検討を行うことになりました。

【議題④】「レーヌマーク」販売促進について＝来年以降には「レーヌマーク10周年」「BWC発足30周年」も控えており、それらも含めた販促活動として、クリプトン社・浅野社長より、広告案などのプレゼンを頂きました。また、「レーヌマーク」ガイドブックの活用についても協議を行いましたが、時間の都合もあり、継続審議となりました。

なお、次回例会は2014年2月13日(木)に決まりました。

定例会は、アサギ常務・後藤会計監事より閉会の辞で滞りなく終了しました。